

パブリックコメント意見募集の結果公表

(仮称)帯広市食育推進条例(案)に対して、市民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と市議会の考え方は下記のとおりです。ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

寄せられたご意見等について検討した結果、パブリックコメントを踏まえた修正は行わず案のとおり策定することとしました。

【意見募集結果】

案 件 名	(仮称)帯広市食育推進条例(案)		
募 集 期 間	令和4年10月7日(金)～令和4年11月9日(水)		
意 見 の 件 数 (意見提出者数)	32件(10人)		
意 見 の 取 り 扱 い	修正	案を修正するもの	0件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	8件
	参考	今後の参考とするもの	24件
	その他	意見として伺ったもの	0件
意 見 の 受 け 取 り	持参		1人
	郵送		0人
	ファクス		0人
	電子メール		9人

【意見等の内容】

NO	市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市議会の考え方
1	<p>【学校給食の使用食材（有機・無農薬）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食に有機食材を積極的に使用してほしい。 ・学校給食に天然調味料を積極的に使用してほしい。 ・学校給食に有機食材・天然調味料の積極的使用を進めていくことを明記してはいかげでしょうか。 ・毎日子どもが口にする学校給食には地産地消も含め、自然環境や身体への影響を考え、積極的に有機食品、無添加調味料、アニマルウェルフェアのお肉を使用していきたいです。 ・学校給食に有機食材を積極的使用（調味料を含む）。まずは子どもたち優先に、選択肢のひとつとして、知識や情報のひとつとして、有機の普及を図っていただけないでしょうか。 ・学校給食では、除草剤などの農薬を使わない野菜を使ってほしいです。 ・今後大切にしていきたいことは、子どもたちへの食の安全性です。安心・安全・より健康な生活を送れるような食を考えていただきたいです。毎日食べる給食。子どもたちの体・健康作りの基本となります。なるべく農薬を使わない野菜・肉の提供。 	7	<p>【参考】</p> <p>食育においては、十勝・帯広産の安全で良質な農畜産物に誇りを持ち、積極的に消費していくことが重要であると考えています。</p> <p>また、学校や保育所等には、子どもたちの食に関する関心や理解を深める場として、安全安心な給食の提供などを通して効果的な食育を推進していく大きな役割が求められています。</p> <p>本条例（案）では、市に、十勝・帯広で生産された農畜産物の学校、保育所等における利用の促進と、地域内における積極的な消費が図られるよう必要な施策を講ずることを求めています。</p> <p>いただいたご意見も含め、今後の議会における審議の参考とさせていただきます。</p>
2	<p>【学校給食の使用食材（遺伝子組換え等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子組換え食材やゲノム編集食品も反対です。学校給食にそれらを取り入れてしまうと、子ども達は選択できません。 ・遺伝子組換え、ゲノム編集、放射性物質が含有する土地の物が公共調達の学校給食などに混在しないようにしてほしい。 ・安全性が不透明な遺伝子組換え食材やゲノム編集食品については給食への使用はしないでいただきたいです。 ・遺伝子組換え食材・ゲノム編集食品を公共調達の学校給食などにそれらが混在しないよう表示。 ・遺伝子組換え、ゲノム編集食品の公共調達の給食などへの導入は、民意を集めて検討するなど、より慎重に行っていただけないでしょうか。 	5	

3	<p>【学校給食への地産地消の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食における地場産物・国産食材を使用する割合を現状維持から維持向上。 ・学校給食への地産地消を意識していただくこと。 	2	<p>【既記載】</p> <p>食育においては、十勝・帯広産の安全で良質な農畜産物に誇りを持ち、積極的に消費していくことが重要であると考えています。</p> <p>本条例（案）では、市に、十勝・帯広で生産された農畜産物の学校、保育所等における利用の促進と、地域内における積極的な消費が図られるよう必要な施策を講ずることを求めています。</p> <p>いただいたご意見も含め、今後の議会における審議の参考とさせていただきます。</p>
4	<p>【バランスに配慮した給食の提供】</p> <p>・毎日食べる給食。昨今で問題となっており、小麦・乳・肉についても、様々な体調不良やアレルギー等の原因となってしまう。それらの提供頻度を減らしていただきたく思います。それは、後に医療費の削減にもつながります。牛乳については、日本人のほとんどが消化吸収できないというデータがあります。昔からの風習である、パンと牛乳というのは長い期間をかけ、体を蝕みます。</p>	1	<p>【参考】</p> <p>食育においては、十勝・帯広産の安全で良質な農畜産物に誇りを持ち、積極的に消費していくとともに、安全性の高い食品の提供や食に関する幅広い情報提供が重要であると考えています。</p> <p>また、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付け、適切な栄養の摂取により健康の保持増進を図ることが求められています。</p> <p>本条例（案）では、食育は、心身の健康の増進及び豊かな人間形成に資することを基本に行うことを基本理念の一つとしています。</p> <p>学校や保育所等においても、栄養バランスに配慮した給食の提供などを通して、効果的な食育を推進し、心身の健全な成長を図るとともに、十勝・帯広の地域特性を生かした食材の利用を促進することが重要と考えております。</p> <p>いただいたご意見も含め、今後の議会における審議の参考とさせていただきます。</p>
5	<p>【地産地消の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食や市役所など、帯広市関連での食事提供の原材料について、地産地消を可能な限り100%を目指す。 	1	<p>【既記載】</p> <p>本条例（案）は、十勝・帯広の農畜産物及び食文化等に対する市民の関心及び理解を深めることにより、地産地消に資することを食育の基本理念の一つとしています。</p> <p>また、市に対して、十勝・帯広で生産された農畜産物の学校、保育所等における利用を促進するとともに、地域内における積極的な消費が図られるよう必要な施策を講ずることを求めています。</p> <p>いただいたご意見も含め、今後の議会における審議の参考とさせていただきます。</p>

6	<p>【有機、無農薬栽培の普及】</p> <p>・農水省が2050年、有機比率を25%にすると策定されていますが具体案はなく帯広市における農業技術センター試験項目にも有機の項目はゼロ。誰しも有機であることは健康につながると胸のうちにはありますが実際これらの案件につなぐ窓口担当としては周りからどう思われるかと考えた挙げ句排除してきました。日本一の食糧基地フードバレーは何処悲しい現実に目を向け世界一の健康食糧供給地帯となるべき十勝がその様な浅はかな考え方では子どもの未来を担うどころか未来を墮落させてきています。現世正常化も視野に入れ足踏みしていた食の正常化にも本腰を入れなければ食育という名に恥じてしまいます。私は生産者であり、有機自然栽培の手練体系も完成し広大な面積でも慣行区より生産量を多く資材無しで得る方法も完成しています。現行からの移行措置も即日移行可能な方法も完成しております。ぜひともフードバレーの名に恥じないご対応をお願いし子どもたちの健やかなる未来を食育の本来の意味と共に推進されることを切に願います。</p> <p>・健康ということであれば、残留農薬も含め、微量でも農薬使用の健康被害は不確定であり、無農薬100%を目指す。</p>	2	<p>【参考】</p> <p>「食」は、生命の源であり、健全な食生活は健康で心豊かな生活を送る上での基礎であると考えています。</p> <p>本条例（案）では、生産から消費に至るまでの「食の循環」が、環境に与える影響に関する理解を深めることにより、市民の環境に配慮した食生活等の実現に資することを食育の基本理念の一つとしています。</p> <p>市においては、食を通じた環境負荷の軽減に対する意識の普及啓発を目的に、環境との調和に配慮した、減肥・減農薬等クリーン農業の推進の取組みを行っていく考えです。</p> <p>いただいたご意見も含め、今後の議会における審議の参考とさせていただきます。</p>
7	<p>【食に関する体験、学習機会の提供】</p> <p>・幼稚園や学校農園には化成肥料や農薬の使用を禁止し、全ての子どもたちが安心して土に直接触れられる環境を作っていただきたいです。化学物質過敏症やアレルギーのある人、身体の小さな子どもたちは成長の過程で受ける影響は大人よりも大きいため、効率や収量よりも自然の力で育つ野菜に触れ、失敗も経験しながら自分達で収穫した作物を調理したり、食べる機会を作っていただきたいです。</p> <p>・化学肥料や農薬に頼らない農法があること、多くの農家が使う化学肥料や農薬がなぜ必要なのかなど、農業大国の十勝帯広だからこそ学習することが必要だと思えます。</p> <p>・学校農園などでの化学物質、農薬使用の禁止。収量ではなく生涯学習の一環である体験や食育の場で、アレルギーや化学物質過敏症などをもつ子どももすべて、みんなが参加できるように、配慮していただけないでしょうか。</p>	3	<p>【参考】</p> <p>食においては、食に関する多様な体験機会を通じて、十勝・帯広の農畜産物及び食文化等に対する関心や理解を深めることが重要であると考えています。</p> <p>本条例（案）では、市に対して、学校、保育所等における効果的な食育の推進を図るため、食に関する指導内容及び食に関する多様な体験機会の充実等により、子どもたちの食に関する関心及び理解が深まるよう必要な施策を講ずることを求めています。また、生産から消費に至るまでの「食の循環」が、環境に与える影響に関する理解を深めることにより、市民の環境に配慮した食生活等の実現に資することを食育の基本理念の一つとしています。</p> <p>市においては、農作業等の体験活動は、食の大切さや地場産業への理解につながる重要な役割と位置付けて、農業体験学習の充実に向けた取組みを進めていく考えです。</p> <p>いただいたご意見も含め、今後の議会における審議の参考とさせていただきます。</p>

8	<p>【消費者への食材情報の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子組換え食材を選択できるようにしてほしい。 ・ゲノム編集作物を選択できるようにしてほしい。 ・放射性物質を含有する土地の物を選択できるようにしてほしい。 ・スーパーなどお店に並ぶ食品に関しても、ゲノム編集食品や遺伝子組換え食材など、わかりやすく表示し、消費者が選択して購入できる様にしたいです。 ・遺伝子組換え食材、ゲノム編集食品の表示と制限。安全性が不透明なものの食材を選択できる表示義務を徹底してほしい。 	5	<p>【既記載】</p> <p>健康で心豊かな生活を送るためには、「食」に関する正しい知識と「食」を選択する力を身につけるとともに、食に関する幅広い情報提供が重要であると考えています。</p> <p>本条例（案）では、食育を、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることと定義し、市、市議会、市民等が一丸となって、取組みを推進するとともに、食品関連事業者等に、安全性の高い食品の提供及び食に関する幅広い情報提供に努めることを求めています。</p> <p>いただいたご意見も含め、今後の議会における審議の参考とさせていただきます。</p>
9	<p>【放射線検査の継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島事故から10年、放射能物質の半減期が経過しないものや、汚染水の海洋放出が予定されている中、学校給食センターでの放射能測定を継続し、結果の公表をしていく。検出された場合は、メニュー変更も含め、提供しない。 	1	<p>【参考】</p> <p>学校給食センターでは、平成24年より学校給食食材の放射性物質測定や測定結果の公表を行うなど、安全安心な給食の提供を行っています。</p> <p>いただいたご意見も含め、今後の議会における審議の参考とさせていただきます。</p>
10	<p>【黙食の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黙食もやめさせてあげたいです。子どもたちの楽しみは給食なので明るく過ごさせてあげたい。 ・学校や保育園幼稚園の黙食を見直してほしいです。給食くらい楽しく食べてほしいです。 	2	<p>【参考】</p> <p>食事は、健全な体を培うだけでなく、食を通じたコミュニケーションの場の一つでもあり、食事の時間を楽しく共に過ごすことは、豊かな人間性を育むことに資すると思いますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止には、3密の回避や黙食、換気の徹底などの対策が有効とされています。</p> <p>今後の感染状況等も踏まえながら、いただいたご意見も含め、今後の議会における審議の参考とさせていただきます。</p>
11	<p>【お弁当の日】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校から月に一度でもよいので、「お弁当の日」を設けて、子どもが自分で作ったお弁当を持って登校する日を作っていただきたいです。親子で食について考える機会となり、伝統料理の継承や男女関係なく将来的にも生きる力になると思います。共働きなど大変なご家庭もあるかもしれませんが、食育には欠かせないと思います。食材の調達から子どもにさせることも学びだと思えます。 	1	<p>【参考】</p> <p>いわゆるお弁当の日は、家庭と学校が連携をしながら行う食育の取組みの一つで、子ども自身が、何を作るのかを考えるとこから始まり、買い物、調理、後片付けまで行うことで、食への関心や意欲を高めるとともに、食事を作る実践力を高めることを目的に行われていると承知しています。</p> <p>子どもたちが健全な心身を培い、豊かな人間性を育むためには、食生活の中で、必要な教育等を行うことが重要であり、子どもたちへの食育の推進には、保護者の理解と協力が不可欠であると考えています。</p> <p>いただいたご意見も含め、今後の議会における審議の参考とさせていただきます。</p>

12	<p>【有機野菜販売店の拡大】</p> <p>・市内で有機野菜を買えるお店を増やしてほしい。</p>	1	<p>【参考】</p> <p>健康で心豊かな生活を送るためには、「食」に関する正しい知識と「食」を選択する力を身につけることが重要であると考えています。</p> <p>本条例（案）では、食育を、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることと定義して、市、市議会、市民等が一丸となって、取組みを推進するとともに、食品関連事業者等に、安全性の高い食品の提供及び食に関する幅広い情報提供に努めることを求めています。</p> <p>いただいたご意見も含め、今後の議会における審議の参考とさせていただきます。</p>
13	<p>【遺伝子組換え食材等の使用禁止】</p> <p>・条文内容に「ゲノム等を使用しない」「遺伝子組換え食材を使用しない」も加えてほしいです。せっかくの十勝の食をアピールする機会なので、これら化学的な手を加えていない地産地消の有機のものでこれだけできるということを前面に押し出してほしいです。</p>	1	<p>【参考】</p> <p>本条例（案）は、市民一人ひとりが、「食」の大切さを見直し、「食」に関する正しい知識と「食」を選択する力を身につけるとともに、十勝・帯広産の安全で良質な農畜産物に誇りを持ち、積極的に消費していくために、食育に関する基本理念を明らかにして、すべての市民が一丸となって「食育」に関する取組みを推進していくために制定するものです。</p> <p>また、市民の役割として、食に関する理解を深め、適切な判断力を養うことで、健全な食生活の実現に努めるとするとともに、食品関連事業者等の役割として、安全性の高い食品の提供及び食に関する幅広い情報提供に努めることを求めています。</p> <p>遺伝子組換え食材等の栽培や流通等については、食品衛生法等により定められており、市民や事業者に対して一律に使用を禁止することは難しいと考えますが、十勝・帯広で生産された農畜産物の利用促進、積極的な消費に取り組んでいく考えです。</p> <p>いただいたご意見も含め、今後の議会における審議の参考とさせていただきます。</p>

【案件の最終案】

別紙のとおり